

第12回植物生命科学セミナー

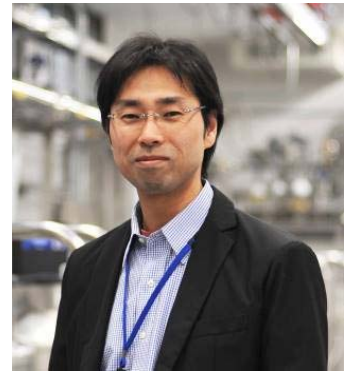
12th Open Seminar hosted by the Department of Plant-Biosciences
Faculty of Agriculture, Iwate University

古くて新しい植物遺伝資源の超低温保存 Advance technology in plant conservation of NARO Genebank

田中 大介氏

農業・食品産業技術総合研究機構
遺伝資源センター 保存技術・情報チーム

Genetic Resources Center, National Agriculture and Food Research
Organization (NARO)



日時：2018年6月25日(月) 16:30～18:00

場所：総合教育研究棟(生命系)1階 遠隔講義室(生命系スペースC)

要旨

農業を支える植物の多様性は異常気象などによって失われつつある。栄養繁殖性植物遺伝資源を滅失させないために、長期にわたり安全で省力的に保存する方法が求められてきた。近年、液体窒素等を用いて超低温下で茎頂等を保存する超低温保存法が圃場保存に代わる二重保存体制手段として注目されている。農研機構で取り組む技術開発研究と最近の生物科学分野における凍結技術の開発と利用について紹介する。

岩手大学大学院連合農学研究科修了(2004年)の田中大介氏をお招きして、農林水産省が進めている植物の貴重な遺伝資源保存の実状についてお話いただきます。地球規模での気候変動や環境破壊などで絶滅の危機に瀕している植物が増えてきている状況を考えると、遺伝資源保存技術の開発と普及は待ったなしの状況になっています。多くのみなさまのご参加をお待ちしています。